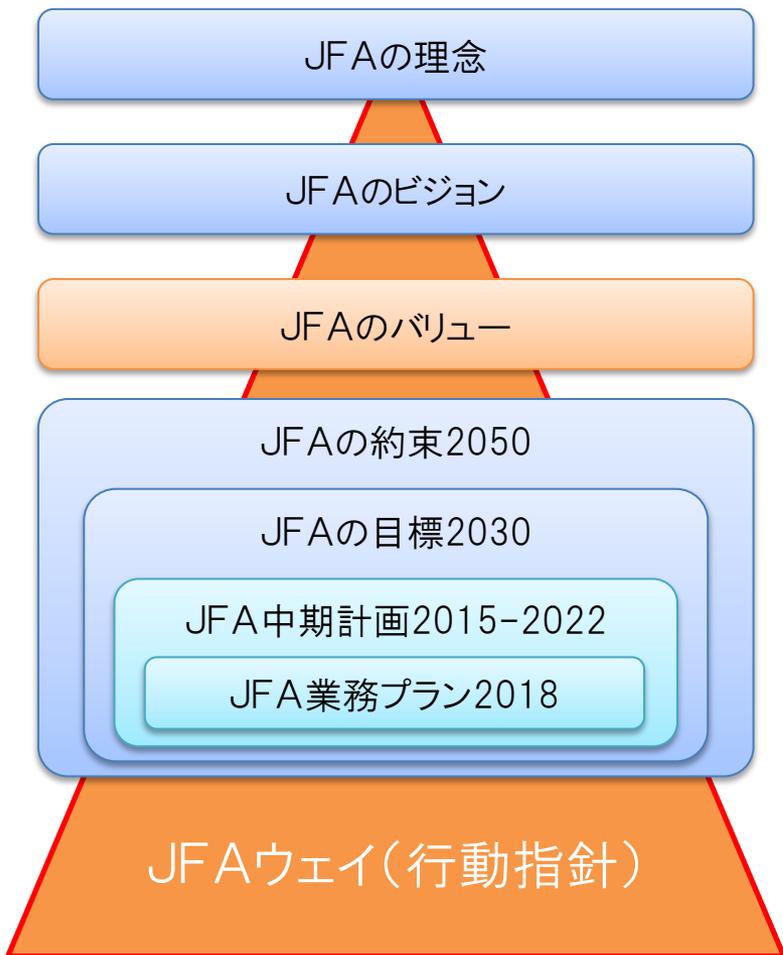


# JFAウェイの浸透・実践に向けた 事務局の今後の取り組みの件

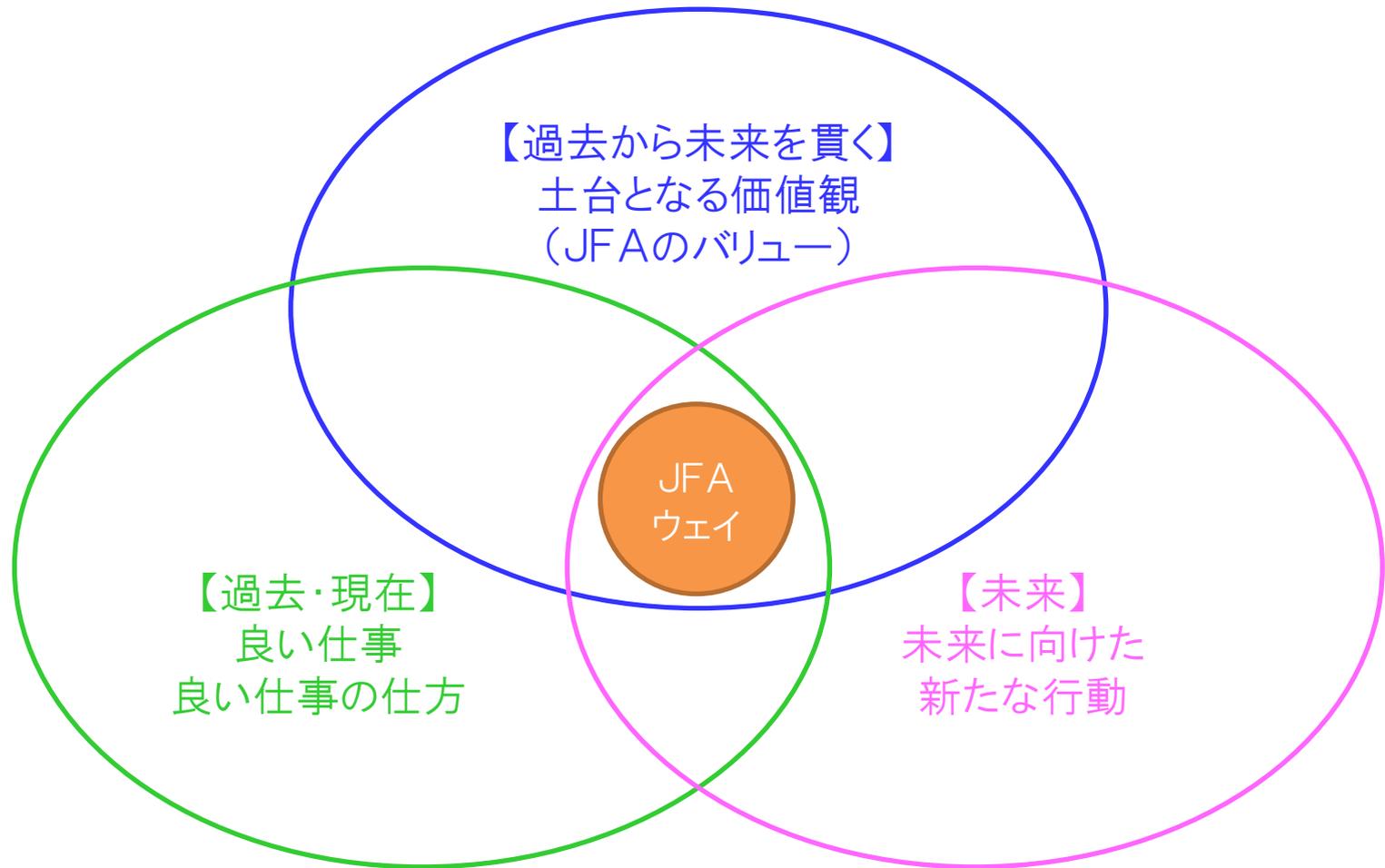
2015年12月度 理事会資料

# JFAウェイの位置付け



項目	定義	対象
JFAの理念	本来組織が持っている普遍的な意義。JFAの理想。	サッカーファミリー全体
JFAのビジョン	将来のあるべき姿を描いたもの。将来の構想、未来図。JFA全体が今後目指すべき姿。	
JFAのバリュー	理念・ビジョンを基本とした組織の核となるDNAを言語化したもの。JFAらしさ。JFAとして大事にしている価値観。	
JFAの約束	他者に対して現在あるいは未来の事について先に宣言し、実行を保証すること。JFAの約束として世の中に宣言したもの。	
JFA中期計画/ JFA業務プラン	8年間の戦略や4年間の施策の具体的な業務計画。	JFA役職員
JFAウェイ	JFAの役職員としての行動指針。	

# JFAウェイを構成する3つの要素



## JFAウェイ

私たち役職員は、現在と未来のサッカーファミリーのために、  
以下の指針に基づき、日々行動する。

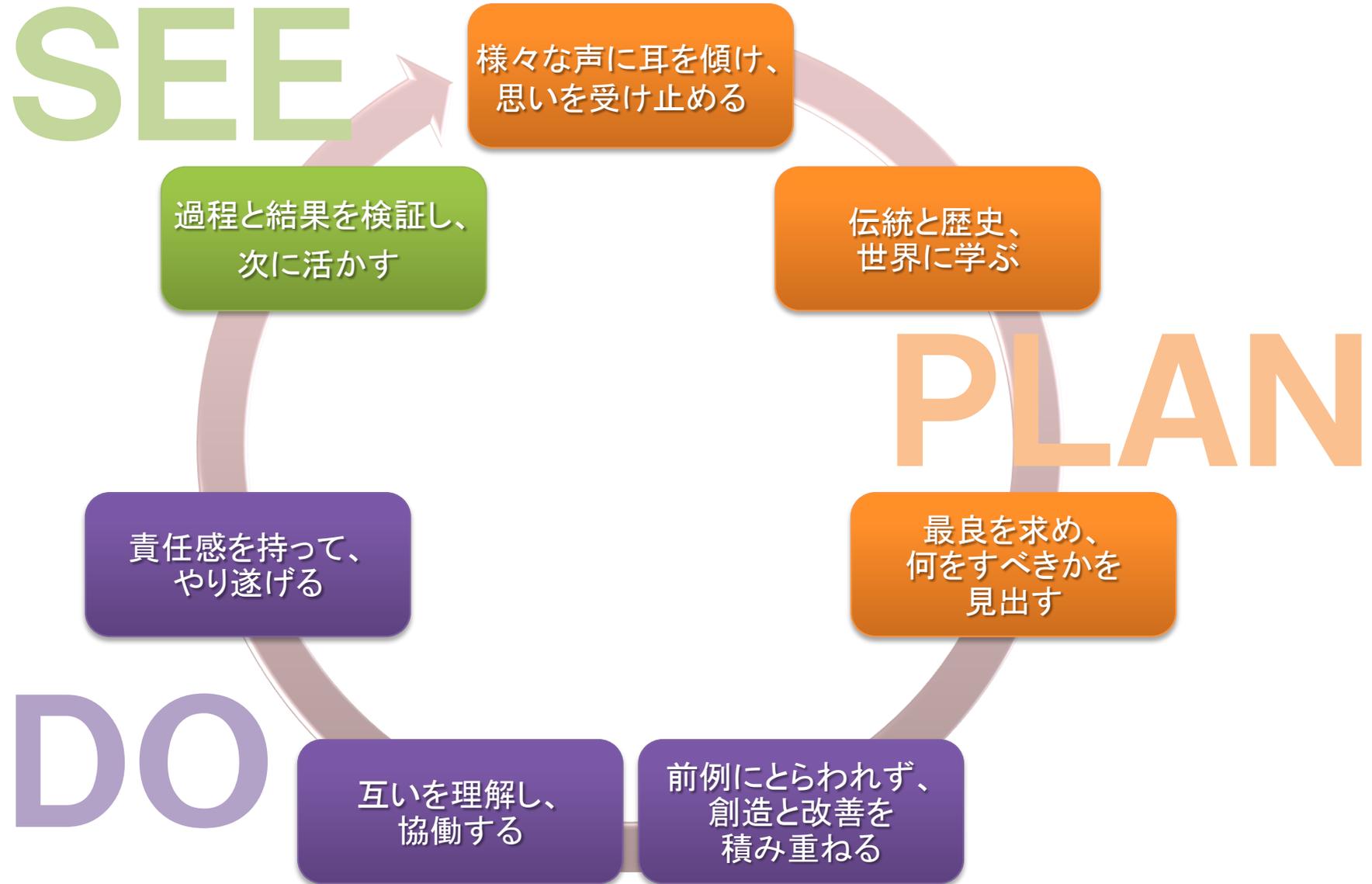
- ⚽ 様々な声に耳を傾け、思いを受け止める
- ⚽ 伝統と歴史、世界から学ぶ
- ⚽ 最良を求め、何をすべきかを見出す
- ⚽ 前例にとらわれず、創造と改善を積み重ねる
- ⚽ 互いを理解し、協働する
- ⚽ 責任感を持って、やり遂げる
- ⚽ 過程と結果を検証し、次に活かす



# JFAウェイに込めた思い、メッセージ

ウェイ	込めた思い、メッセージ
<p>私たち役職員は、現在と未来のサッカーファミリーのために、以下の指針に基づき、日々行動する。</p>	<p>「私たち役職員は」…私たち自身の思いとして、自ら宣言する  「現在と未来のサッカーファミリーのために」…全ての仕事は、これからサッカーに出会う人たちも含め、最後はサッカーファミリーにつながっている  「指針に基づき」…以下に書かれているものは、行動するときの指針とすべきもの  「日々行動する」…指針に基づき、日々、自分の中で考え、行動を起こす</p>
<p>様々な声に耳を傾け、思いを受け止める</p>	<p>「様々な声に耳を傾け」…サッカーファミリーはもとより、役職員同士、あるいは広く社会の声をよく聴く、よく知ろうとすることから始めたい  「思いを受け止める」…その人たちの背景にある思いを知り、その思いを受け止め、自分たちの力に変えていく</p>
<p>伝統と歴史、世界から学ぶ</p>	<p>「伝統と歴史」…先駆者、先人たちの苦労、取り組み、思いから学ぶ  「世界」…世界のサッカーを始め、自分の仕事の視野を世界に広げ、学んでいく</p>
<p>最良を求め、何をすべきかを見出す</p>	<p>「最良を求め」…これで良いと満足せず、常により良きものを求めていく  「何をすべきかを見出す」…自分がなすべきことは、自ら見出していく</p>
<p>前例にとらわれず、創造と改善を積み重ねる</p>	<p>「前例にとらわれず」…前例がないとできない、前例と同じようにしなければではなく、前例を踏まえつつも、さらにそれを越えていく  「創造と改善を積み重ねる」…小さな改善でも、大きな創造でも、大切なのはそれを積み重ねていくこと</p>
<p>互いを理解し、協働する</p>	<p>「互いを理解し」…協力し合い、力を出し合うためには、互いの状況や考え方、仕事の進め方や背景にある判断軸、価値観をシェアすること、理解しあうことが大事  「協働する」…協力だけでなく、一緒に知恵を出し合う</p>
<p>責任感を持って、やり遂げる</p>	<p>「責任感を持って」…自分が、自分たちがやるんだという強い責任感を持つ  「やり遂げる」…最後まで諦めずにやり抜き、何かを成し遂げる</p>
<p>過程と結果を検証し、次に活かす</p>	<p>「過程と結果を検証し」…結果だけでなく、その過程を振り返り、検証する  「次に活かす」…やりっぱなしにしない、課題を見出し、次の活動につなげる</p>

# JFAウェイと仕事のサイクルの関係性



# 事務局の目指す方向性

## JFAウェイ

私たち役職員は、現在と未来のサッカーファミリーのために、以下の指針に基づき、日々行動する。

- ⚽ 様々な声に耳を傾け、思いを受け止める
- ⚽ 伝統と歴史、世界から学ぶ
- ⚽ 最良を求め、何をすべきかを見出す
- ⚽ 前例にとらわれず、創造と改善を積み重ねる
- ⚽ 互いを理解し、協働する
- ⚽ 責任感を持って、やり遂げる
- ⚽ 過程と結果を検証し、次に活かす



PDSをしっかり回して、宣言したことをやりきり、検証し、着実に改善し続けていく組織

全体が一つのビジョンに向けて、お互いの仕事を結び付け、連動して動いていける組織

「聞く、学ぶ」を徹底して関係者や過去の功労者の思いを受け止め、世界を視野に活動を起こす組織

JFAの理念やJFAのビジョンに向けて、みんながやりたいこと、すべきことを自ら考え、議論し、次々に新たなチャレンジが生まれる組織

# JFAウェイの事務局への浸透・実践に向けたステップ

関係強化 : お互いを理解し、認め合う風土作り

- ・対話土台となるJFAのバリューやJFAウェイの策定
- ・コミュニケーションの土台作り



仕事革新 : 学び合い、高め合い、互いの力を引き出し合う風土作り

- ・ウェイに基づいた自身の仕事の仕方の見直し
- ・仕事上の課題や悩みを持ち寄り、互いのために何が出来るかを考える



未来創造 : 未来志向のチャレンジがどんどん生まれる風土作り

- ・理念やビジョンの実現に向けたアイデアの出し合い
- ・未来に向けてやるべきこと、やりたいことの実践

# JFAウェイの浸透・実践に向けた事務局の今後の取り組み

JFAのバリューやJFAウェイの策定を通じた事務局内のコミュニケーション活性の土台作りを行ってきたが、今後は各部署への落とし込みを図り、具体的な仕事の取り組み方を変えていく。

